

令和5年度幼稚園学校評価（古志幼稚園）

分野	評価項目	評価の着眼点	自己評価		学校関係者評価	
			達成及び取組状況	評価	評価	評価結果を踏まえた今後の取り組み
教育課程・指導	①学年・学級経営	教職員は、教育目標の達成を目指した学級経営を行っているか。	・本園の教育目標や実態・育みたい資質や能力を基に「目指す幼児像」を見直し、年度当初に学級経営案を作成し、具体的な指導計画や進捗を通して補助教諭やヘルパーと連携を取りながら学級経営を進めた。また、期ごとに保育の評価をし、次期の改善策を明らかにしながら学級経営にあたった。 ・フタバから古志地域の「ひと・もの・こと・自然」の魅力を生かした教育・子育てで、直接体験から得た事を様々な保育活動や学びにつなぐ学級経営を行い、教育目標の「心豊かでたくましい幼児の育成」を目指している ・一人一人を大切にしたいきめ細やかな保育をする中で個々が活躍する場が沢山ある事を行事で保護者に公開しクラス通信や学級懇談で共通理解を図った	4	4	・今後も、教育目標を具現化するために、地域の自然や特色を生かした保育の構想や子どもの興味関心に沿った主体的な活動を支える質の高い保育を追求し学びにつなげていく。 ・学級の目標や保育内容等を経営案や月計画で全職員に分かりやすく提示し、共通理解をした上で、連携を取り合っていく。
	②幼児理解	教職員は、一人一人の幼児の発達の様子から課題を捉えて保育を行っているか。	・各職員が一人一人を観察する中で気付いた事や些細な変化について常に話題にし、実態把握や解決策を探ったり、効果的な援助について努めてきた ・園内研究や「子どもを語る会」を通して、期ごとの個々の成長や学びにつながる姿を話し合い多面的に個々の発達を捉えることが出来た	4	4	・担任同士・担任と補助教諭は毎日子どもについて語り合う時間を作り、情報を共有しながら、一人一人の良さが発揮できるように、また、課題には具体的な支援策を出し合いながら個々の自信やクラスの成長につながるよう全職員で取り組む。
	③特別支援教育	特別な支援を必要とする幼児の実態や課題を明確にし、計画的・組織的に指導を行っているか。	・気になる幼児や支援が必要な園児については、担任・ヘルパー・補助教諭間で常に情報交換をし、具体的な支援についてその都度話し合い、子どもの見方に偏りが無いよう、意識して対応したり連携を取り合ったりした。 ・巡回相談・専門機関（通級教室）と情報交換を密にしながらよりよい支援について話し合い、個々の成長につなぐことが出来た。特に就学に向けて就学先の小学校や南琴と連絡を取り、保護者への見学や状況説明を行い、個にふさわしい入感先を選択できた。	4	4	・支援を必要とする園児については、職員間で共通理解を図り、計画的・組織的に指導を行うよう努め、担任や補助教諭が連携を取り合っていくよう工夫していく。 ・市の巡回相談や指導員との連携を図り日々の生活や支援に活かしていく ・家庭支援が必要な園児には、生活習慣の確立に向けて、協力し合える関係作りを心がけ、具体的な援助について適宜話し合う。
	④人権・同和教育	教職員は、自らの人権感覚を磨き、幼児に人権意識の芽生えを培うように配慮しているか。	・日々の保育の中で、友達の良いところみやつげやトラブル場面を大切に話し合い、生き物の飼育や野菜植物の世話を通して、命の大切さや他者を思いやる心の育みを培ってきた。 ・外国籍の友達と生活する中で、文化や言葉の違い・多様な生活がある事を知り、人権意識の芽生えにつなげた。	4	4	・各自が研修会に積極的に参加し、伝達報告をする事で、全職員が人間隔や相和観を高め、資質向上を図る。 ・人権同和教育年間指導計画と月計画のねらいを見ながら、職員間で共通理解をした上で、ふるまいや言動に配慮する。
	⑤行事	教職員は、行事を幼児の発達を促す機会と捉え、工夫、改善しているか。	・コロナ感染症が5月に移行し、さくらんぼサロさんの交流を2回実施、コミセン文化祭での和太鼓演奏、神門幼・神西幼との三園交流等コロナ前の生活に戻り、様々な人との触れ合いの中で貴重な経験につながった。 ・各行事は日常の活動と連動しており、園児の興味関心に沿った行事にならうと見直しをもった保育構想と学年ごとのねらいを明確にし、園児が主体的に取り組むような援助や環境の構成を工夫した。（忍者修行、電車遊び等）	4	4	・引き続き、起案を基に行事の意義やねらいを明確にし、細やかに打ち合わせをして取り組んでいく。 ・就学・進級に向け生活習慣の見直しを図り家庭と協力し合って確立する。 ・運動会や発表会では、保護者や祖父、母、地域の方に本園教育への関心と理解を高めてもらうよう、工夫を凝らしていく。
	⑥保幼小連携	近隣の小学校等との連携を密にし、なめらかな接続に努めているか。	・校区6つの幼児小間で定期的に管理職会や担当委員会を行い、情報交換や交流の持ち方を話し合う中で、職員間の連携を図ることが出来た。 ・「なかほか交流」では全園児が異年齢交流を今年度は「交流の日」や「学習発表会見学」を通して就学に向けて期待感を高めた。 ・神門幼稚園との交流を2回実施することが出来、親近感を抱いて、より小学校生活を心待ちにしている。	4	4	・小規模園の園児にとって、近隣の保幼小学校との交流会は、たくさんの人と関わる貴重な体験活動である。連携教育を通して、滑らかな接続につながるよう交流の持ち方を工夫したり、本園の園児が触れ合いを喜び、自信を持って行動できるよう支える。
家庭・地域との連携	⑦家庭・地域との連携	幼稚園と保護者、幼稚園と地域（未就園児等）との協力関係はできているか。	・地域のひとつもの・こと・自然と関わる活動は、園児の心育でに潤いをもたらす。特に地域の方を講師とした和太鼓、運動教室、栽培活動等五感を通じて貴重な直接体験が出来た。 ・保護者が気軽に相談できるように送迎時や連絡ノートの活用を工夫をしているが、相談できにくいと感じている保護者もあった。	3	3	・保護者が何に不安を感じ、相談を受けたのかを、日頃から積極的に話しかけ、誰でも相談しやすい雰囲気作りや信頼関係を構築する。 ・テラスで気軽な話し合いをするよう、送迎時の担任とのやりとりでは、一人一人の良さやエピソードを言葉でも伝えていく。
研修	⑧研究・研修	教職員一人一人が、園内外の研究・研修の機会を自己研鑽の場として受け止め、進んで研究・研修に取り組んでいるか。	・10月、幼児教育指導員を招き園内研究会を実施。保育公開後視点に沿った話し合いや新しく作成した「研究のテーマと取り組み」について指導を受けた。 ・研究のテーマと取り組みを更新するにあたって研究職員会を複数回行い実態を基に「育てたい幼児像」について綿密に話し合い共通理解を図った	4	4	・次年度、市幼研大会会場園として、今年度の園内研究会での成果や課題、幼児教育指導員の講評を基に、幼小的なプログラム作成と混合学級保育の援助の在り方について、更に研究を深める。 ・主体性・創造性・協同性の視点から園児の育ちを追求していく ・各自が、研修会に積極的に参加し、職員会や復命書等で研修内容や所感を述べ、専門知識を高めたり、広めたりする。
組織運営	⑨園務	教職員は、他教職員と協働し、計画的に園務を遂行しているか。	・園務分掌に基づいて職員の役割分担をし、担当が行事の起案をして職員会に図り、決定事項は、常に全職員で遂行するよう分担し、協働で取り組んだ。 ・今年度転入職員には、担当が窓口となって共通理解を図り、気軽に話し合える雰囲気づくりに努めたり、園務が滞らないように心がけたりした。	4	4	・職員間においては、報・連・相を密にしながら、様々な状況に対処していけるように、常に見直しをもって業務にあたり、他の職員との協力体制の強化に努める。
安全管理・保健管理	⑩危機管理	園の危機管理及び幼児の安全や衛生の管理体制を全教職員が理解し、適切な対応に努めているか。	・危機管理マニュアルの見直し・学期毎に通報火災、地震、洪水、不審者対応を計画し、避難訓練を実施し園児は避難や搬送から災害時の約束事を学んだ。 ・今年度の火災による避難訓練は消防署立ち合いの通報訓練を行い、火事の怖さや約束事を聞いたり、ホースによる放水体験をしたりして関心を高めた。 ・4月に警察による親子交通安全教室を開催し、南駐車場から安全に歩く実地訓練を通して、皆が共通理解を図った。	4	4	・引き続き感染症予防対策を心がけ、衛生面への細やかな指導に努める。 ・就学・進級に向けて、生活習慣の見直しを図り、家庭と協力し合って確立する。 ・悪天候で南駐車場からの歩行が困難な時は、園駐車場や西側駐車場への駐車をメールや口頭で全保護者に漏れなく伝える。
教育環境整備	⑪園地・園舎・遊具等の施設・整備	園地・園舎・遊具等の施設・設備を定期的に点検し、必要な改善・管理を行っているか。	・毎月安全点検を行い、施設設備の修繕や破損については、施設課に報告し、修繕業者に連絡し、迅速に対応している（倉庫の建付け） ・遊具については、施設課と一緒に安全点検を行い安全性を確認した。 ・業者による築地補修を5月に行い、凹凸が滑らかなり安全に遊んでいる。 ・総合遊具のボルトカバー付け替えは毎年要求しているが修繕予定はない。	4	4	・今後も園舎内外の定期点検の他に平素から保育活動中に気付いた施設設備の破損や危険箇所等は早急な対応・処理に心掛け、安全管理に留意する。 ・特に総合遊具のボルトの緩みは各職員がその都度確認をし、応急処置をしたり状況に応じて施設課に連絡をし、指示を仰ぐ。

※評価基準 4：十分達成している 3：概ね達成している 2：改善を要する部分がある 1：大いに改善を要する